公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	守口市立わかかき・わかすぎ園		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 27 日		～ 令和 7 年 2 月 7 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60人	(回答者数) 44人
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 27 日		～ 令和 7 年 2 月 7 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	21人	(回答者数) 21人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 21 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・固定したメンバーの中で小集団の療育が行われる為、個々に対して段階を追った療育を継続的に行うことが出来る。又その集団構成の為、療育者との関係も築きやすく、子ども達同志の関わりが持ちやすい。	・親子通園を通して、療育者と保護者が子どもの特性を把握し、支援方法、接し方等を実際に共有できるようにすすめている。	・専門職等による保護者や職員、他機関に対しての研修の開催。
2	・基本、親子クラスからの療育の始まりの為、自身の子どもの特性や支援方法等が理解しやすく、家庭や療育の中でどのように取り組んでいくかの助言を受ける事が出来る。 ・各専門職が子どもの評価(機能)を行い、保護者や職員と取り組むことを確認しながら、家庭や療育の中でどのように取り組んでいくかの助言を受けることが出来る。	・固定したクラスの子どもメンバーや担任の中で、こどもの姿を把握し、クラス担任間と保護者と情報共有を行い療育へとつなげていくこと。	・他機関との情報共有の場を多く持つ事(リハビリのカンファレンス等)
3	・インクルージョン機能やスーパーバイズ・コンサルテーション機能として他機関との関わり、支援、研修等の開催など推進を行うこと。		・本園の見学会等(幼稚園、こども園等対象)を開催することで環境構成や支援の仕方等療育の方法を伝える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の療育に対する意識や理解に差がある事	・継続した職員の確保が難しい事	・本園で研修を開催する機会を確保し、又他機関での研修を受講する機会も確保しその情報等も伝える。また、令和8年度からは指定管理者による運営となることから、指定管理者のノウハウにより職員の確保については改善されるものと見込まれる。
2			
3			